



恩讐越え日米友好架け橋実行委

△新潟▽真珠湾奇襲攻撃から今年で68年。作戦を指揮した山本五十六聯合艦隊司令長官の故郷、長岡市に

来月3日、名誉顧問に昭和天皇孫の東久邇信彦氏、顧問に山本長官の長男の山本義正氏、経団連元会長の今

井敬・新日鉄相談役名誉会長らが名を連ねる「日米友好の架け橋実行委員会」(会長・森民夫市長)が発

足する。過去の恩讐を乗り越えて長岡、ホノルル両市が友好関係を築き、平和を願う。長岡花火を真珠湾に打ち上げるのが夢だ。

20年8月1日の長岡空襲で焼け野原となり、1400人余が犠牲になった。太平洋戦争で辛酸をなめた両市が相互理解を深め、日米友好の架け橋となることで世界平和にもつながる。の思

委員会で設立に奔走したのは山本長官の旧制長岡中学(現・長岡高校)の後輩でもある森市長。「山本長官は海軍次官時代から日米戦争回避に命を賭けていた。これを理解してほしい」。

い森市長自らが折衝して委員会設置にこぎつけた。谷内正太郎・元外務事務次官、泉田裕彦知事、作家の半藤一利氏も顧問に名を連ね、長岡市側は各界代表を網羅。8月1日にホノルル市訪問団も来日、戦災復興と平和を願う長岡まつり

平成19年8月、この思いを胸に日米市長交流会出席のためハワイを訪問した。

大花火大会、山本五十六記念館「写真」を視察。団長のコールドウェル副市長は委員会と懇談する。森市長が「相互理解に一歩前進した」と評する委員会発足は夢の第一歩でもある。

長岡市は「だまし討ち」の指揮官の故郷。拒絶覚悟でホノルル市のハイネマン市長に交流を求めると、予想外に訪問団の相互派遣でも合意。文民統制のお国柄で「山本は軍人として任務

を遂行しただけ」が現地の評価だったためだ。ところで、長岡市は昭和

で「山本は軍人として任務

を遂行しただけ」が現地の評価だったためだ。

21.7.29 日本経済新聞

新潟県長岡市は、有識者でつくる「日米友好の架け橋実行委員会」を設立する。森民夫市長が28日の記者会見で、8月3日に初会合を開くことを明らかにした。ホノルル市(米ハワイ州)から長岡市を訪問するコールドウェル副市長も出席する。

日米友好

長岡市が「架け橋実行委」

長岡市はホノルル市との平和交流を2008年度から始めている。ホノルル市副市長ら一行は64年前の同じ日の長岡空襲で1470人余りが犠牲となった8月1日から訪れる。翌2日には空襲犠牲者の慰霊の意味合いもある長岡まつりの大花火大会などを視察す

来月3日に初会合

一方、長岡市はパールハーバー攻撃の総指揮を執った山本五十六元帥の出身地でもある。同市とホノルル市の両市民が太平洋戦争や五十六への相互理解を深めることで、日米友好のきずなを強化し、同委員会の設立をうながしたい考えだ。

長岡市

ホノルル市と友好を

来月初会合 真珠湾で花火検討

新潟日報

21.7.29

長岡市は28日、米国ハワイ州ホノルル市との交流を通して日米相互理解を深めようと「日米友好の架け橋実行委員会」を設立すると発表した。8月3日に長岡市で初会合を開く。

長岡市は28日、米国ハワイ州ホノルル市との交流を通して日米相互理解を深めようと「日米友好の架け橋実行委員会」を設立すると発表した。8月3日に長岡市で初会合を開く。

長岡市は28日、米国ハワイ州ホノルル市との交流を通して日米相互理解を深めようと「日米友好の架け橋実行委員会」を設立すると発表した。8月3日に長岡市で初会合を開く。

長岡市は28日、米国ハワイ州ホノルル市との交流を通して日米相互理解を深めようと「日米友好の架け橋実行委員会」を設立すると発表した。8月3日に長岡市で初会合を開く。